

殺虫殺菌剤
箱王子粒剤

クロチアニジン・スピネトラム・イソチアニル粒剤

令和3年10月27日付けで以下の適用拡大が登録されました。

【変更内容】

・作物名「稲（箱育苗）」の使用方法「育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。」および「育苗箱の上から均一に散布する。」に使用量「高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り50～100g）」を追加する。

【変更部分】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クワアジンを含む農薬の総使用回数	スピネトラムを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 内稃腐変病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) ウカ類 ツグロコバイ 体ミスゾウムシ イトメイシ コメテウ フタヒコヤガ コノメイガ イトムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の 床土又は 覆土に均 一に混和 する。	4回以内 (移植時ま での処理は 1回以内、 本田での 散布、 空中散布、 無人航空機散布 は合計 3回以内)	3回以内 (移植時ま での処理は 1回以内、 本田での 散布は 2回以内)	3回以内 (移植時ま での処理は 1回以内、 本田では 2回以内)
		高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50～100g)						
		育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ～移植当日		育苗箱の 上から均 一に散布 する。			
		高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50～100g)						

次頁へ続く

前頁より続く

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カブジンを含む農薬の総使用回数	ズ [®] 補ムを含む農薬の総使用回数	イザミルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イセハカゲリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50g	移植3日前 ～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
		高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g)						
	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50g	は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。			
		高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g)						
育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50g	は種時 (覆土前)	育苗箱の上から均一に散布する。						
高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g)								

使用上の注意事項の変更

【追加事項】

・育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当りに乾糶として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

住友化学株式会社